

地域別環境懇談会 〔栗源〕地区

日 時	平成25年 9月 17日(火) 19:00~20:40
場 所	栗源支所2階 201会議室
出 席 者	石田経済環境部長、高木班長、栗野主査、大平主事、伊藤栗源支所長、齋木主査、日本工営渡辺技術士、田中技術士 (参加者22人)

1) 地域で残しておきたい自然、改善したい環境について

○残しておきたい自然について

- 浅黄東部地区石橋稻荷神社清水
- 栗源中学校下の桜(学校周辺の山全体で桜の回廊を作ってはどうか)
- 平成の森公園(水路にカワナが生息しており、ホタルが自然生息している。桜と併せた名所となるのではないか。)
- 学校周辺の山で大きなフクロウを見かけるようになった。
- ベニコマチの栽培環境

○改善したい環境について

- 鮭の遡上する川について、段差のあるところに魚道を設ければ、さらに多くの鮭が上ってくるのではないか。
- 平成の森公園下水路・調整池の砂の堆積、雑木の整備をしてほしい。(都市整備課に要請済み)
- ハクビシン・カラスによる農業被害
- 支川栗山川の抜本的改修をしてほしい。(川の損傷が激しくボランティア清掃に限界がきている)
- 車の通過ができる河川側道の整備をしてほしい。(千葉県へ要望済み)

2) 震災以降の環境や生活の変化について

- 栗源地区においては、震災による被害は少なかった。
- 住民自治協議会で防災マップを作製した。
- 防災無線の重要度を再認識した。
- 防災無線の個人宅受信機について、中継所が小見川になってから聞こえにくくなったとの苦情が増えている。
- 他地区から「かりんの湯」へ入浴しに来ていた。

3) 環境に関する市民協働について

- 古道の会 中白清水周辺でNPO団体や住民自治協議会と協力し、草刈りや看板設置、親子自然観察会や中学校、大学を対象とした草刈会、里山コンサートを行っている。
- さくらの会 住民自治協議会と協力し、中学校下の桜の整備(栗源桜の名所づくり)を行っている。
- 同年グループ 生涯学習を発端とし、OBによるふれあい公園の草刈りを行っている。(5

0名程度)

- 住民自治協議会について栗源地区に3つあるが、3団体で調整し合同で1つの事をやることが多く、1つにまとめた方が運営がスムーズになるのではないか。

4) 地域の活動の核となる人やグループについて

- 住民自治協議会
- 古道の会
- さくらの会
- 生涯教育が発端となった同年グループ
- 農地・水環境保全組合（苅毛、西田部、荒北）

5) その他

- 栗源区環境情報マップへのゴルフ場、ザ・ファームの掲載。鹿島港線、栗山川支流までの表記をしてほしい。
- 今年から桜の会と住民自治協議会が合同となり、資金援助等受けられるようになった
- 残土、産廃不法投棄の監視強化してほしい。
- 生涯教育へ力をいれてほしい
- ボランティア募集方法について他市町村の実例等の情報発信してほしい。
- 地区外ボランティアの調整、ボランティア活動内容PR周知をしてほしい。
- 栗源町時代にはボランティア要請を町役場が積極的に行っていた。
- 九美上地区の砂取場からの濁水の流出について、昨年のU字溝の清掃によって大分改善された。
- 高萩地先齊藤自動車周辺の道路について水はけがよくなった。